

新規就農先輩の軌跡 No.20

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：森 義之 住所：たつの市神岡町 年齢：40歳</p>	<p>農地：ビニールハウス1542㎡（6棟） 経営内容：鉢物、花壇苗、野菜苗 主な作目：パンジー、ビオラ、ハルタ、ペチュニア、ガザニア、トリア、カーネーションなど 労働力：本人、妻、雇用3名 出荷先：JA、量販店など</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">出荷を待つ花壇苗</div> 
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>1992年（平成4年）八ヶ岳農業実践大学校卒業後、オランダで農業研修 1993年（平成5年）園芸センターに勤務 2002年（平成14年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農のため退社し、たつの市内の花農家で研修をしながら自己資金でビニールハウスを立て試作開始。 就農認定を受けた後、就農支援資金によりハウスを1000㎡増設し、現在に至る。 	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のブランドづくりができる。（自分が育てた花（商品）が消費者や販売店から評価してもらえる） 失敗や苦労したことを工夫、改善すれば、それが評価される。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼロからのスタートでありながら、家族の生活も賭けて始めた花づくり。失敗は許されなかった。
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<ul style="list-style-type: none"> もともと、農業生産をしたいと考えており、自分なりに、タイミングをみて農業経営を開始しようと考えていた。 	<ul style="list-style-type: none"> よい商品を作ることは当たり前。自分は、どういう経営方針（目的、目標）を持って経営したいのか話すことができますか？ 時代の変化に応じて、農業も自分も変わることが必要。 自分の個性を引き出して、可能性を見つけよう。